

Kyokuryo Exchange Program

「旭陵留学生プログラム」 Newsletter

岐阜県立中津高等学校

同窓会

平成31年3月6日

Vol.18

前号に引き続き、今回は旭陵留学第14期生 小関夏鈴さんのアメリカ留学レポートをお届けします。

アメリカに来て7ヶ月以上がたち、帰国日はまだ分かりませんが帰国まで100日以下となくなってしまったと思います。これまで楽しいことばかりではありませんでした、アメリカの自由な感じと、現地のできた家族、友だちと離れなくてはいけない日が来ると思うと寂しいです。しかし、これまでたくさんアメリカンなことを経験したので日本のみんなに報告するのが楽しみだし、残りの生活でなにが起きるのかワクワクしています。



ホームカミングデーでの一枚

まずは、学校について紹介したいと思います。私の通っている学校は全校生徒200人以下のとても小さい学校です。だから先生は生徒全員の名前やクラブをよく知っていて、とても親身です。私は留学生ということで、基本的にクラスは選びたい放題なので、日本でいう中3の子がいるクラスも取っています。

アメリカではクラスの中に違う学年の子がたくさんいて、クラスごとにメンバーが全く違うのでたくさん友達ができ楽しいです。みんなとても個性的で、イベントに対する熱量がすごいと感じます。

次に、私のホストファミリーについて紹介します。私にはダブルプレイメントのホストシスターがいます。ダブルプレイメントとは、違う国から来た留学生が同じホストファミリーにお世話になることです。私はドイツの子とステイしています。はじめはアメリカでさらに違う国から来た子と暮らすのは心配でしたが、今では話に夢中になり気づいたら5時間経っていたこともよくあったり、口げんかもするほど本当に仲良くなれま

した。お互いにたくさん相談したり、ドイツと日本のことを教えあったりして、彼女のおかげでと

ても楽しく過ごせていると思います。他にもたくさん私の生活を楽しくしてくれている人たちがいますが、その中でも大好きな友だちがいます。初めて会った時は、アメリカに来たばかりで、英語で会話が全くできず、15分先の場所まで行くのにも気まずい沈黙の間ができてしまっていたけど、今では一日中遊んでも無理せず話続けられます。そして、今では沈黙になったとしても気まずくなくて、むしろ心地いいくらいで、自分が会話をできるようになったことと、その子ととても仲良くなれたことに嬉しく思います。

残りの生活も積極的に行動して、限られた時間の中でせっかく出会えた素敵な人たちと存分に楽しみたいです。

ハロウィンにて ランタンは手作りです！！



ダブルプレイメントのドイツ人留学生



留学生仲間との小旅行
(シルバーレイクにて)

